

街歩き台東散歩 Walking in Taito

今夏号では水辺のコースからスタート。水上バスで浅草に出て、隅田公園を通過して奥浅草へ向かう歴史の道、日暮里から上野への定番道を紹介します。

隅田川沿いの風と新吉原(浅草・三ノ輪・竜泉コース)
隅田川と三ノ輪・竜泉散策コース
総距離: 4-6km 総時間: 4-5時間

隅田川の川べりを歩き、花街からかつて新吉原として親しまれたエリアへと散策。このコースでは歴史と文化が息づく地域を巡ります。ここには下町情緒が残っています。

1 隅田公園

リバーサイドを歩く、風と歩く心地よさ Sumida park



水上バス乗り場を出てすぐが隅田公園です。川沿いの風の中、遊歩道を歩くのもよし、緑の小道を散策するのもよし。9月8日(土)には浅草流鏑馬が行われ、風情のある行事に出会えます。東京スカイツリー®もよく見えます。◀風が気持ちいい

2 待乳山聖天

浅草寺の金龍像出土伝承はここから。古墳だった? Matsuchiyama-syouden



▲大根を持ってお参り
「まつちやましようでん」と読みます。十一面観音菩薩を本地仏とする聖天さま(大聖歡喜天)をここでは祀っており、静かなたずまいです。この待乳山聖天に大根を奉納すると良縁や夫婦和合のご利益があると言われています。すぐとなりに作家 池波正太郎の生誕地があります。付近には江戸時代の終わりに中村座・市村座・河原崎座(後の森田座)の三つの歌舞伎小屋が集められ、猿若三座と呼ばれ、そこを中心とした一大興行地区が生まれました。ここから千束通りに向かって歩き、右手に浅間神社が現れた四つ角を左折すると、そこが俗に「観音裏」と言われる地域です。浅草でまだ花街が残っているのは、言問通りと小松橋通りに挟まれ、馬道通り付近から千束通りにかけた地域です。

3 千束通り

ひさご通りから新吉原へ向かう大通り Senzoku-dori street



アーケードのある商店街は都内でも少なくなりました。言問通りの南がひさご通り、北が千束通りです。新吉原として千束がにぎわっていた頃には、千束通りが山谷堀と共に、新吉原への大通りとしてにぎわったそうです。今でも人情味あふれ地元の人も愛されている商店街として人々が集っています。◀のんびりした雰囲気心地いい

甘味喫茶 たかはし
クリームあんみつ
ご注文の方
本クーポン提示で 50% 割引
他のサービス、クレジットカードの併用は出来ません
2012/9/30まで有効

■吉原が舞台の作品

吉原を舞台にした物語等はかなり多く、映画好きなら五社英雄監督『吉原炎上』、蛭川実花監督(原作安野モヨコ)『さくらん』などが思い浮かびます。その他にも篠田正浩監督『写楽』、平山秀幸監督『やしきた道中 てれすこ』、山本清史監督『男女逆転 吉原遊郭』などなど。伝統芸能では助六の『助六由縁江戸桜(すけろく ゆかりの えどざくら)』、三代目河竹新七『籠籠瓶花街酔醒(かごつるべ さとのえいざめ)』が有名です。吉原ものは文芸の世界でも数限りなく、明治以降の小説では森鷗外『中々・セクスアリス』、樋口一葉『たけくらべ』、永井荷風の作品などが、最近では宮木あや子(漫画版は齊木久美子)『花育道中』などが有名。(品名 全著作権©)



浅草寺の山号は「金龍山」。だからあちこちに龍の姿があります。さて、これはどこの龍でしょう?(品名 全著作権©)



■吉原と新吉原

江戸幕府の最初期の1617(元和3)年、現在の日本橋人形町に幕府公認の遊郭が開設されました。しかし1657(明暦3)年の明暦の大火によって被害を受け、移転した先が浅草寺裏の田畑が広がる農耕地帯。以前のものを元吉原、移転先の浅草北部を新吉原(略して吉原)と呼びます。吉原の出入り口は吉原大門の一箇所とされ、周囲をお歯黒どぶと呼ばれた幅4m弱の堀が巡らされていました。吉原の中は身分の差はなく、一種のユートピアであったとも言われています。一流の遊女は教養があり、大きな店は文化的な社交場としての機能もあつたので、江戸から明治、大正、昭和初期までの長い期間、文化発信の場でもあり、今も吉原がロマンをもって語られるゆえんとなっています。

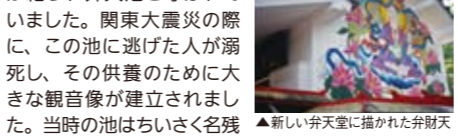
4 吉原神社・吉原弁財天・鷲神社・長國寺

吉原の歴史は今も生きています Yoshiwara-jinja shrine, Yoshiwara Sarasvati and Ootori-jinja shrine, Chokoku-ji temple



▲吉原神社
10)年に合祀され、現在の吉原神社になりました。

吉原弁財天 新吉原に郭のあった時代、池畔に弁財天が祀られ弁天池と呼ばれていました。関東大震災の際に、この池に逃げた人が溺死し、その供養のために大きな観音像が建立されました。当時の池はちいさく名残を留めるのみになりましたが、現在も弁財天は大切に守られています。今年、東京藝術大学のサポートを受け、祠が新しくなり、以前より明るくなりました。



▲鷲神社入り口の大熊手
鷲神社・長國寺 長國寺と共に11月に酉の市が開催され、大勢の参拝客が訪れます。鷲神社の門前には、大きな熊手が飾られ、境内には俳人 宝井其角、樋口一葉や正岡子規などの石碑があります。

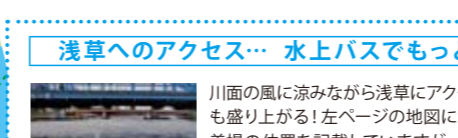
▲鷲神社入り口の大熊手

▲鷲神社入り口の大熊手

5 飛不動

飛んで帰るとはこのこと。 Flying Deity Tobi-fudou

住職が奈良県大峰山へ本尊のお不動さんを運んだことがあったのですが、この地の人々が祈ったところ、一夜にして江戸に飛び戻ったと言われていました。病気や災難を「飛ばしてくれる」ということで信仰されました。また、現在では航空安全を願い参拝する人もいらっしやいます。さらに、「飛ぶ」ということは「落ちない」ということから、合格祈願に訪れる人も。



浅草へのアクセス…水上バスでもっと楽しく。



川面の風に涼みながら浅草にアクセスすればデートも盛り上がる!左ページの地図に浅草(二天門)発着場の位置を記載していますが、公益財団法人東京都公園協会が運営する「東京水辺ライン 水上バス」は浅草をはじめ、都内のあちこちに発着場を設けています。主なものとして「浅草(二天門)」「両国」「明石町・聖路加ガーデン前」「浜離宮」「お台場海浜公園」「葛西臨海公園」など。一番人気はお台場や浜離宮から浅草(二天門)へのコースで、隅田川にかかる橋

の下を通過してだんだん東京スカイツリー®に近づいてゆく絶景を堪能できます。水上からでしか味わえない景色もあり、さらに「スカイツリー未来号」の船体には東京スカイツリーの姿がラッピングされていてステキ。船内にも東京スカイツリーをはじめ浅草や両国等についての情報が掲示されています(運航状況は水辺ラインのHPなどで確認)。浅草や東京スカイツリーでのデートを考えている方、ぜひお試しを。

【(公財)東京都公園協会 東京水辺ライン】
■墨田区横網1-2-15
☎03-5608-8869
🕒9:00~17:00
🗓月曜日(祝日の場合は翌日)
▲こんなカットは水上からでしか撮れない!

天麩羅 伊勢屋
土手の伊勢屋
台東区日本堤1-9-2 吉原大門
☎03-3872-4886
営業時間 11:30~14:00, 17:00頃~20:00
定休日 水曜日

フレンチ・スイーツの新しい物語を、芦屋から。
HENRI CHARPENTIER
アンリ・シャルパンティエ
松屋浅草1階 洋菓子
MATSUYA ASAKUSA
〒111-0033 東京都台東区花川戸1-4-1 電話03(3842)1111大代表 www.matsuya.com

デンキヤホール
名物オムマキ+名物ゆであずき
ご注文の方本クーポン提示で 50% 引き
他のサービス、クレジットカードの併用は出来ません
2012/9/30まで有効



TOPICS >> ASAKUSA MINOWA RYUSEN

6 一葉記念館

「たけくらべ」を生んだ土地はこちら Ichiyo memorial museum



樋口一葉の代表作「たけくらべ」などの輝かしい小説は、一葉が雑貨屋を営みながらこの竜泉町に住んでいた頃の経験に即していると言われていています。一葉の業績を偲ぶ有志の方の要請により、1961(昭和36)年に日本初の女流作家単独資料館として開館しました。

7 浄閑寺

生まれては苦界、死しては浄閑寺 Jokan-ji temple



投込寺と言われた浄閑寺には、新吉原総霊塔があります。1855(安政2)年の大地震で亡くなった遊女たち500人や、1923(大正12)年の関東大震災の被害者など、新吉原が始まって終焉するまでの間にゆかりのあった方々が推定2万5,000人ほど供養されています。また、永井荷風の詩碑もあります。

A

東武鉄道 浅草駅ビル(松屋浅草)の外観が新しくなりました。日本を代表する建築家・久野節が設計した1931(昭和6)年当時のアール・デコ建築を再現。当時は屋上遊園も設置され、にぎわったそうです。全面改修が終わるのは11月を予定しています。浅草で土産を買うなら浅草駅ビルで!



B

観音裏は芝居小屋や花街がありました。今も名残の割烹料理店や寿司屋などの飲食店が点在していて、町並みを見て歩くのに格好のコースです。芸者さんにも会えるかも! P4-5の記事参照。



C

以前、浅草から新吉原までの間は田畑が広がっていました。その中を通過していた山谷堀は、灌漑用水として作られ、王子から三ノ輪、三ノ輪から山谷堀、そして隅田川に注ぐ用水でした。現在は暗渠となっており、水面は見えません。江戸発の浅草紙は、港紙(大阪)、西洞院紙(京都)と共に再生紙として有名です。いろいろなところから集めたくず紙をどろどろに溶かして、もう一度漉かえすことによって紙を再生産していたのです。浅草紙を生産していたのがこの紙洗橋付近です。



D

「吉原大門」の交差点では、わずかに残る見返り柳だけが昔を思い起こさせます。「吉原大門跡」は、土手通りから歩くと通称五十間道と呼ばれるカーブに入って直線道路になったあたり。土手通りには老舗の「伊勢屋」や桜鍋屋などがあり、週末にはかなりのにぎわいをみせています。少し歩くと懐かしい風情の「いろは街商店街」があります。

